

白龍神社と 15 階建てマンション

名古屋の瑞穂生涯学習センター近くに「白龍神社」がある。道を訪ね、たどり着いた。井戸田学区連絡協議会の名で、次のように案内されていた。

「戦前、この地域一帯は、蛸ヶ池(田光ヶ池)という、灌漑用池であった。都市化によつて埋め立てる際、村人の伝説となっていた『池の主』白龍大王と呼ばれる「おろち(大蛇)」、の魂を鎮めるために祭つたのが白龍神社である。終戦後の一時期堀田小学校の疎開先として開校したことがある。」

白龍神社の近くには、大喜寺や津賀田神社などがあり、歴史ある街並みが続く。ここには何回かレポートしてきた「郡道」が南北に走る。白龍神社近くの郡道沿いに 15 階建てマンションが建設されつつある。8 月 8 日、20 日レポートのように、売主はイワクラゴールデンホーム、施工は日本建設名古屋支店である。

「景住ネット・全国まちの問題フォーラム in 名古屋 2016」で報告した、「瑞穂・堀田・井戸田住環境を守る会/白龍」会員は郡道が 2 車線の生活道路に格下げされたにも関わらず、「近隣商業地域」指定は残ったままなのが問題だと指摘する。

地域の人に聞くと、売主のイワクラゴ

ルデンホームは、まったく住民に説明する姿勢がないようだ。それで、周辺住民がマンション建設反対の動きを始める。だが、高層マンション建設に向け、本格的な工事が進められている。反対運動の中心を担う住民が、建設業者との「いざこざ」を理由に逮捕・拘留される事態も。それまでも警察は業者寄りの姿勢で、声を上げる住民に「圧力」をかけていたという。こんなことが歴史ある閑静な住宅地のなかで、住民無視で行われているのを知り、本当に腹が立つ。しっかりと監視していきたい。

白龍神社に祭られている「おろち(大蛇)」も、再び目を覚ますのではないか。

(2016 年 10 月 28 日)

